

商店街マネージャーを活用した 総合的な街づくり

松山大街道商店街振興組合（愛媛県松山市）

松山中央商店街の位置



松山中央商店街の概要

- ・ 松山市は人口**47万人**の四国最大の都市
- ・ **4つ**の商店街が全体で約**1キロメートル**に渡る**L字型**のアーケードでつながっている。
- ・ 通称**1丁目**の松山大街道商店街は、大街道の北側に位置し、城北の大学や高校が近く、三越やラフォーレなど、松山のファッションをリードする店舗が立ち並ぶ若者の街。
- ・ 通称**2丁目**の大街道中央商店街は、買い回り品を中心とした、長さ**170メートル**の商店街。婦人服、バックなどの専門店が**6割強**を占める一方、カラオケや映画館などの**娯楽・レジャー施設**が充実している。

松山中央商店街の概要（つづき）

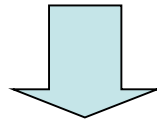
- ・ 3丁目にあたる銀天街第一商店街は、年間を通じて、児童向けの展示会を開催するなど、地域密着化への取り組みを盛んに行っている。
- ・ 4丁目の銀天街第二商店街は、銀天街の西側に位置し、松山市駅前広場に面した、松山中央商店街の玄関口の役割を果たしている。
- ・ ホームページの開設や、アーケード内のテレビモニターの設置など、商店街の情報化にも積極的に取り組んでいる。

事業概要

- ・ これまで4つの商店街は互いに競争、切磋琢磨してきた。
しかし、99年に松山サティが撤退、次いでダイエーも撤退し、
空き店舗が増加。また、パチンコ店、カラオケ店が増加し、
婦人服店が減少、業種構成の変化やテナント店の増加といった
著しい環境変化に直面。
- ・ そこで、4商店街振興組合を1つの事業体と見立てた、
総合的なまちづくりを行う必要性から、マネジメント対策事業に取り組んだ。

松山大街道商店街振興組合 理事長 日野 二郎氏へのインタビュー

Q. マネジメント対策事業を活用するに至った経緯について



- 中心市街地活性化は単一の組合で取り組むのは無理。
- 4つの商店街全体をマネジメントする必要性を感じた。

Q. 事業の運営に当たって

<組織体制>

マネジメント事業推進委員会



理事長会、理事会、総務委員会



4つの商店街の方々による販促委員会

消費者の方々による各種委員会

- 百貨店勤務経験者を商店街マネージャー

松山中央商店街連合会 事務局長 商店街マネージャー 森 忠士氏へのインタビュー

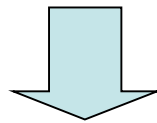
Q. 商店街マネージャーとしての事業への取り組み
→ まず組織体制の整備。各種委員会を組織して
4つの商店街の方向性を合わせる。

Q. 地域社会との連携について
→ 地域住民、学生、NPOといった各種団体と連携し、
地域社会における商店街の役割を見直してゆく。

商店街マネージャー 森 忠士氏へのインタビュー（つづき）

- ・ N P O 日本ガーディアンエンジェルスによる松山パトロール

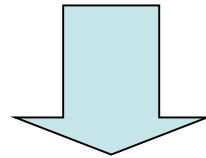
安心・安全な街づくり



商売の繁栄

Q. 個店支援事業について

- ・ 店舗のブラッシュアップ作戦



中小企業診断士による個店へのヒアリング調査から開始。
10店舗のモデル店舗を選定して実施。

Q. 総合案内所について

- ・ 国のコミュニティ事業活用事業を利用して開設。
- ・ お客様への情報発信、お客様からの情報受信の場であり、お客様との交流の場として有効。

Q. その他

- ・ 学生の提案による各種イベントの実施など

店主たちの感想

- イベント等の実施で来街者、来店客が増えた。
- 店主たちに共同意識、仲間意識が高まった。
- 個店の発展が商店街の繁栄につながるので、個店支援が重要。
- 店主たちの意見交換の場が増え、意識改革に役立っている。

関連URL

- 松山中央商店街
(<http://town.ehime-iinet.or.jp/>)
- 松山銀天街商店街振興組合
(<http://www.gintengai.or.jp/>)